

# アンケート調査結果の概要をお知らせします

アンケート調査配布数と回答状況

対象	配布数(人)	有効回答者数	有効回答率(%)
55～64歳の住民	300	224	74.7
65歳以上の住民	500	486	97.2
軽度の在宅要介護認定者	150	137	91.3
重度の在宅要介護認定者	100	95	95.0

介護保険制度が始まってから8年が経過し、基本理念である高齢者の「自立支援」、「尊厳の保持」を基本としながら、介護保険制度を持続していくために、介護予防を重視する視点に立った介護保険制度の改革が進められています。

町では、新たな「吉岡町高齢者保健福祉計画および第4期介護保険事業計画」の策定にあたり、委員を公募し、在宅介護者などの住民代表12人で構成された懇談会を開催しました。懇談会では、アンケ

**軽度とは…**

介護認定における要介護度が、要支援1、2、要介護1、2までの段階。

**重度とは…**

要介護度が、要介護3、4、5の段階。

アンケート調査結果や、介護サービスの量的実績を参考に、計画に反映できるように検討しています。

なお、このアンケート調査は今年2月に行い55～64歳の住民、65歳以上の住民、在宅要支援・要介護認定者を対象に、介護予防の観点から日常生活の状態、介護・福祉・保健サービスなどの利用の意向などを把握することを目的に実施しました。(前回調査は、平成17年に実施。)その概要についてお知らせします。

介護保険サービス利用の有無	要介護軽度		要介護重度
	今回調査回答者数 137人	前回調査回答者数 153人	回答者数 95人
現在利用している	66.4%	75.7%	78.9%
かつて利用したことがあるが、今は利用していない	8.8%	3.3%	5.3%
今まで一度も利用したことがない	15.3%	10.5%	9.5%
無回答	9.5%	10.5%	6.3%

介護が必要になったとき、住み慣れた地域で安心して過ごせるために介護サービスの制度を利用することができま

す。

介護が必要になったとき、住み慣れた地域で安心して過ごせるために介護サービスの制度を利用することができま

利用するには「申請」が必要ですが、次のような理由からサービスを利用していない人もいます。

## 介護保険サービスの利用状況

**【利用していない主な理由 ベスト3】**

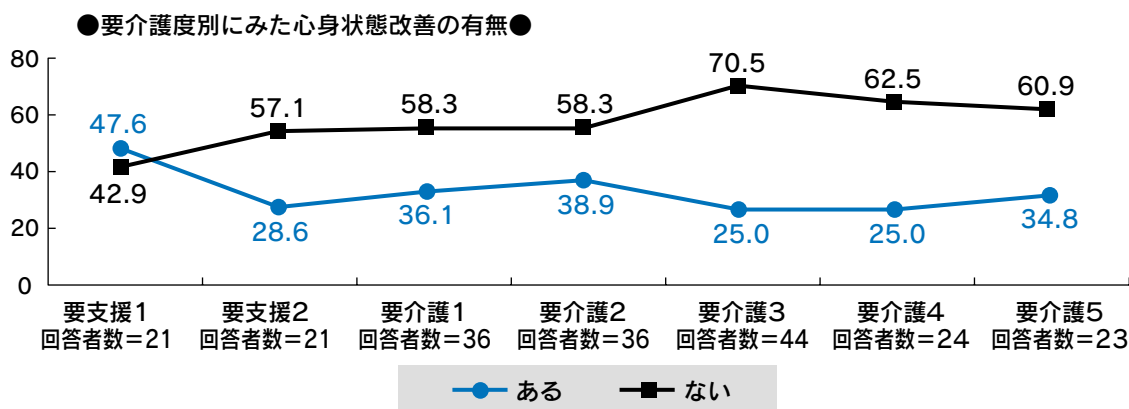
〈軽度〉

- No1. 当面は家族だけで介護できる
- 2. 介護なしで自分でやれる
- 3. 念のため認定を受けただけで、今は必要ない

〈重度〉

- No1. 現在、病院などに入院している
- 2. 当面は家族だけで介護できる
- 3. 介護なしで、何とか自分でやれる

# 心身状態の改善状況



介護が必要な状態になっても、その後の対応で心身状態が改善される場合があります。

要介護度別に心身状態改善の有無をみると、「ある」は「要支援1」で約半数を占めて高くなっています。また他の層でも3〜4割の人が改善しています。

心身状態が良くなった原因は、要介護軽度、重度ともに「適切な介護サービスを利用した」がもっとも高くなっています。また、要介護軽度では

・できることは自分でするように心がけた  
 ・医師、ケアマネージャーなどの専門家からアドバイスを受けた  
 ・自ら意欲的に治療、リハビリなどに取り組んだなどの多様な要因が高い割合であげられました。

## ●心身状態が改善した要因●

